

前期再編による新高校 5 校の通学時間の変化

新高校 5 校について、統合前の平成 21 年度と統合後の平成 25 年度における全校生徒の通学時間を、「30 分未満」、「30～60 分」、「60 分以上」の 3 段階でその割合の変化を示したもの(「学校管理指導計画」に基づく)

生徒の通学時間は、再編後のどの高校においても通学に 30 分以上かかる生徒が増えている。

富山工業高校では、大沢野工業高校・富山西高校があった富山市南部地区から高山線など公共交通機関を利用して通学する生徒が倍増していることが一因と考えられる。

その他の学校については、比較的近い距離にある学校同士の統合であったことなどから、富山工業高校に見られるような再編後の通学時間増加の要因は明確ではないが、統合した 2 校の距離がごく近い滑川高校や氷見高校においても、通学時間の長い生徒が増えたということは、新高校がカリキュラムや施設設備等の充実により魅力が増し、遠方からでもその学校に通いたいという生徒が増えたものと推測される。



